

愛媛県県立学校振興計画「第2回地域説明会（宇和島・南宇和地区）」での 主な御意見等について

令和4年10月1日～15日において、「愛媛県県立学校振興計画」策定の目的や計画（案）の内容などについて説明する第2回地域説明会を8地区で開催しました。

本地区における主な御意見等については、以下のとおりです。

項目	主な御意見等	県教育委員会の考え方
宇和島 南中等	宇和島南中等前期課程を募集停止とする今回の計画案は、生徒ファーストの視点に立ったものとは言えず、納得できない。	<p>県教委としては、当初、規模を縮小してでも存続させる方向で提案をしましたが、地域協議会において、管内4市町の首長・教育長等はじめ協議会の総意として、市町立中学校の維持・存続を図る必要があり、また中学校段階までは地域の子供は地域の学校で育てるためにも、前期課程を募集停止としてほしいとの強い要望がありました。さらに、地元宇和島市の小中学校長会やPTA連合会においても、募集停止の要望が強かったことから、計画案では、前期課程を募集停止とし、宇和島南高校（仮称）を新設する現在の案としたところです。</p> <p>宇和島南中等への進学という選択肢を失わしめることになり、県教委としても残念に思いますが、今後の生徒数の減少を考慮すると、当地域に県立中等を存続させるだけのキャパシティがなくなっていることも事実です。</p> <p>「生徒」は中等教育学校に進学する者だけではなく、公立中学生も同様に「生徒」であり、地域の総意としての要望に応えた結果として、ご理解をお願いします。</p>
	現在、宇和島南中等に在籍する1年生は、募集停止を知らされずに入学している。在校生の意見はどうなるのか。今後の方針が決まっていない学校で、生徒への影響はどうか。	現在の在校生については、卒業まで責任を持って指導し支援していきます。下級生がいなくなることを補うため、部活動を含め、他の中学校との連携をしっかりと検討していきます。
計画 全般	中学校卒業時の地区外への流出は2割で、他地区と比べて少ないとあるが、その2割を地域内の学校にとどめる再編はできないのか。	南予地域の学校が小規模校化する中、部活動や学習の面で切磋琢磨できる環境を求めて、松山地域の私立高校等に進学する生徒が増えています。振興計画により地域内に一定規模以上の学校を配置するとともに、各校の魅力を高め、より多くの生徒に地域内の県立学校を選択してもらえるような体制づくりに努めたいと考えています。
	宇和島水産は、スーパーサイエンス・ハイスクールで水産の研究をしている宇和島東と統合したほうがよいのではないのか。	宇和島東については、まずは津島分校との統合をしっかりと行っていく必要があります。また、宇和島東は既に3学科体制であり、ここに新たに水産科が加わると、管理面での負担がかなり大きくなることなどを考慮する必要があることから、宇和島水産は、隣接校である宇和島南との統合が最適であると考えています。

	20年先に自分たちの地域に学校があるかどうかは、大きな問題である。子どもたちが高校に進学する際に、地域に根差した教育環境を整えてもらいたい。	再編により小さな学校だけでなく大きな学校も地域内に配置し、子どもたちの選択肢を確保することが大切だと考えています。どの学校においても、地域と連携して、地域のよさを学ぶ教育を推進し、将来、地域に戻ってくる生徒を育てていきたいと考えています。
全国募集	津島分校には、相撲部、チアリーディング部、クライミング部などの特色ある部活動があり、部活動に関心を持ち、全国募集で入学した生徒も10名ほどいる。下宿先の相談を受けることもあるので、志のある生徒のためにも住環境などを整え、県外からより多くの生徒に来てもらえるような体制を構築してもらいたい。	県では、「全国募集促進事業」を実施し、「地域みらい留学」に参画している学校については、県外の中学生が学校見学のために来県する際の交通費補助や学校見学バスツアーの実施等を行うなど、各校の全国募集活動を後押ししています。 一方で、住環境等を含む県外生徒の受け入れ体制の整備については、県内の多くの学校が定員割れとなり生徒確保に取り組んでいる中、県がこれら全ての学校に支援を行うことは困難です。 なお、学校によっては、地域からの温かいご支援のもと、生徒寮の設置や下宿のあっせん、食事支援などに取り組んでいただきながら、全国募集などで成果を上げており、心から感謝しているところです。
芸術科目	音楽・美術・書道のうち書道が開講されているのは、南予地域では、宇和島東高校と川之石高校しかない。この現状を変えてほしい。中規模以上の学校を設置して、多くの教員を配置することで、より多くの選択科目を開講してもらいたい。	1学年1学級規模の学校で音楽・美術・書道の3科目を開講しているところもあれば、大規模校で2科目しか開講していないところもあります。音楽・美術・書道をはじめとする選択科目の開講については、各学校が生徒の希望等を踏まえて決めており、一概に学校の規模で科目数が制限されているわけではありません。